

# 光陽支援学校『学校教育自己診断アンケート』教員用

実施期間 令和6年12月3日(火)～12月13日(金)

回収率 全体: 100%(小学部: 100% 中学部: 100% 高等部: 100% 病弱部: 100%)

R6年度結果					
R5	←	R4	R5	←	R4
R6			R4(A+B合算)		
R5年度結果			R4年度結果		

・R5は肢体・病弱を別で集計したため合算して算出

## 【教育活動に関するもの】

No.	診断内容	A		B		C		D		E		A+B 前年比
		よくあてはまる		あてはまる		あまりあてはまらない		まったくあてはまらない		わからない		
1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	42.0%		55.5%		1.7%		0.0%		0.8%		4.5%
		35%	← 40%	58%	← 53%	4.0%		1.0%		2.0%		
		97.5%	← 93%	93%		5.0%		0.0%		2.0%		
2	児童生徒に使用する「言葉・行動」と同僚間で使用する「言葉・行動」の質を高め、人権を尊重した教育活動を行っている。	32.8%		62.2%		5.0%		0.0%		0.0%		6.0%
		27%	← 35%	62%	← 59%	8.0%		0.0%		3.0%		
		95.0%	← 89%	94%		7.0%		1.0%		1.0%		
3	児童生徒の生活指導では、カウンセリングマインドを取り入れた丁寧な指導を行っている。	21.8%		68.9%		4.2%		0.0%		5.0%		-0.3%
		30%	← 31%	61%	← 59%	5.0%		0.0%		7.0%		
		90.7%	← 91%	90%		6.0%		0.0%		4.0%		
4	いじめ(疑いを含む)等が起こった場合には、迅速に対応できる体制が整っており、予防(仲間作り等)にも努めている。	26.1%		55.5%		5.9%		0.0%		12.6%		7.6%
		24%	← 35%	50%	← 47%	5.0%		2.0%		19.0%		
		81.6%	← 74%	82%		3.0%		0.0%		15.0%		
5	相談体制として、児童・生徒・保護者は、学年主任、部主事、首席など学級担任以外の教職員とも相談することができる。	31.1%		59.7%		7.6%		0.0%		1.7%		7.8%
		31%	← 40%	52%	← 46%	11.0%		1.0%		5.0%		
		90.8%	← 83%	86%		5.0%		0.0%		7.0%		
6	ヒヤリハット・インシデント・アクシデント報告が共有され、再発防止に活かされている。	42.0%		52.9%		3.4%		0.0%		1.7%		2.9%
		40%	← 54%	52%	← 42%	4.0%		1.0%		3.0%		
		94.9%	← 92%	96%		2.0%		1.0%		1.0%		
7	教員・養護教諭・看護師等が協働し、医療的ケア安全委員会で確認しながら、安全に医療的ケアを行うことができています。	46.2%		43.7%		2.5%		0.0%		7.6%		5.9%
		34%	← 53%	50%	← 35%	5.0%		1.0%		11.0%		
		89.9%	← 84%	88%		3.0%		0.0%		9.0%		
8	防犯・防災について備え、訓練や準備を進めている。(保護者と連携し、引き渡し訓練の実施・定期的な非常用バックの入れ替え・「大災害時の対応マニュアル」の運用・光陽安心メールの活用等)	33.6%		60.5%		0.8%		0.0%		5.0%		10.1%
		41%	← 47%	43%	← 40%	4.0%		2.0%		10.0%		
		94.1%	← 84%	87%		3.0%		1.0%		9.0%		
9	学習指導要領を踏まえた「教育課程」の再編成と「年間計画(シラバス)」について検討・作成に取り組んでいる。	37.8%		52.9%		4.2%		0.0%		5.0%		1.7%
		28%	← 38%	61%	← 51%	5.0%		1.0%		6.0%		
		90.7%	← 89%	89%		4.0%		0.0%		7.0%		
10	「授業振り返り研修会(学部研修会)」「授業参観週間」等を実施し、授業改善・授業力向上に活かすことができています。	25.2%		66.4%		5.9%		0.0%		2.5%		9.6%
		26%	← 40%	56%	← 52%	11.0%		1.0%		6.0%		
		91.6%	← 82%	92%		4.0%		1.0%		3.0%		
11	「ICT機器」等を積極的に活用し、児童生徒の主体的な学びを大切にしながら、一人ひとりの教育的ニーズに応じた授業を行っている。	35.3%		54.6%		5.9%		0.8%		3.4%		-4.1%
		30%	← 38%	64%	← 57%	3.0%		0.0%		3.0%		
		89.9%	← 94%	95%		4.0%		0.0%		1.0%		
12	学校行事が、児童生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	31.1%		62.2%		5.0%		0.8%		0.8%		0.3%
		32%	← 37%	61%	← 56%	5.0%		0.0%		3.0%		
		93.3%	← 93%	93%		2.0%		0.0%		3.0%		
13	校内研修や外部人材からの助言等により、自立活動の専門性を高める機会がある。	21.8%		68.1%		9.2%		0.0%		0.8%		-0.1%
		24%	← 30%	66%	← 60%	5.0%		0.0%		5.0%		
		89.9%	← 90%	90%		3.0%		0.0%		5.0%		
14	児童生徒一人ひとりの興味関心・適性に応じて、キャリア教育や進路に関する指導を行っている。	13.4%		68.9%		8.4%		0.0%		9.2%		4.3%
		14%	← 26%	64%	← 52%	13.0%		0.0%		8.0%		
		82.3%	← 78%	78%		11.0%		0.0%		9.0%		
15	学校ICTシステムの更新にあたり、学校全体で必要な情報を共有しながら計画的に進めている。	25.2%		63.9%		7.6%		0.0%		3.4%		
		89.1%										
16	効率的に授業準備ができるように光陽教材ライブラリ等を今後活用していこうと考えている。	16.8%		51.3%		16.8%		2.5%		12.6%		
		68.1%										
17	安全安心で働きやすい環境づくりのために、定期的な「整理整頓」を行っている。	23.5%		56.3%		14.3%		1.7%		4.2%		17.8%
		15%	← 19%	47%	← 56%	29.0%		1.0%		8.0%		
		79.8%	← 62%	75%		17.0%		1.0%		5.0%		
18	「仕事のスリム化を行う」「仕事の時間を区切る」「仕事の仕方を変える」ために工夫・改善に取り組んでいる。(業務改善・スリム化事業、各部署における新規スリム化業務の提示・19時機械等備・ノー会議デイ設定等)	14.3%		52.9%		23.5%		3.4%		5.9%		8.2%
		16%	← 20%	43%	← 51%	27.0%		6.0%		8.0%		
		67.2%	← 59%	71%		21.0%		5.0%		3.0%		
19	学校ホームページの学校日記の定期的な更新、ポツチャの取組みの発信等により、地域に開かれた学校作りに取り組むことができています。	23.5%		63.9%		5.0%		0.0%		7.6%		-4.6%
		31%	← 31%	61%	← 60%	2.0%		1.0%		6.0%		
		87.4%	← 92%	91%		3.0%		1.0%		5.0%		

【学校運営・学校経営に関するもの】

20	校長は自らの教育理念や学校経営について考え方を明らかにしている。	23.5%	63.9%	5.9%	0.0%	6.7%	-0.6%
		27% ← 47%	61% ← 49%	8%	0%	5%	
		<b>87.4%</b> ← 88%	← 96%	0%	0%	2%	
21	校長はリーダーシップを発揮している。	24.4%	58.0%	9.2%	0.0%	8.4%	1.4%
		22% ← 54%	59% ← 40%	8%	0%	11%	
		<b>82.4%</b> ← 81%	← 94%	1%	0%	3%	
22	学校運営に教職員の意見が反映されている。	10.1%	54.6%	16.8%	4.2%	14.3%	4.7%
		8% ← 19%	52% ← 55%	15%	4%	20%	
		<b>64.7%</b> ← 60%	← 74%	9%	0%	15%	
23	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされている。(次年度の校内体制を3月に共有し、準備期間を設ける等)	12.6%	45.4%	30.3%	2.5%	9.2%	-3.0%
		11% ← 19%	50% ← 50%	19%	3%	18%	
		<b>58.0%</b> ← 61%	← 69%	14%	0%	15%	
24	児童生徒への対応や仕事上の課題等について、気軽に相談し合えるような職場の雰囲気がある。	34.5%	54.6%	9.2%	0.8%	0.8%	4.1%
		24% ← 32%	61% ← 57%	9%	0%	7%	
		<b>89.1%</b> ← 85%	← 89%	3%	3%	3%	
25	学校は、毎年、学校運営と教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に活かしている。	20.2%	64.7%	5.0%	0.8%	9.2%	8.9%
		15% ← 28%	61% ← 61%	6%	2%	17%	
		<b>84.9%</b> ← 76%	← 89%	2%	0%	7%	
26	「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」について、教職員の共通理解を図り、活用している。	25.2%	63.0%	7.6%	0.8%	3.4%	2.2%
		17% ← 24%	69% ← 63%	11%	0%	3%	
		<b>88.2%</b> ← 86%	← 87%	7%	1%	3%	
27	地域への相談支援体制ができており、支援教育のセンター的機能を発揮している。	28.6%	54.6%	1.7%	0.0%	15.1%	5.2%
		25% ← 30%	53% ← 58%	3%	2%	17%	
		<b>83.2%</b> ← 78%	← 88%	3%	0%	10%	
28	学校は、教育活動に必要な情報について、ホームページや配布物等を用いて、保護者や地域への情報発信に努めている。	23.5%	68.9%	1.7%	0.0%	5.9%	1.4%
		29% ← 28%	62% ← 67%	4%	1%	4%	
		<b>92.4%</b> ← 91%	← 95%	3%	0%	6%	
29	学校は、施設設備の点検・管理を日常的に行っている。	21.8%	64.7%	8.4%	1.7%	3.4%	31.5%
		13% ← 22%	42% ← 52%	33%	2%	10%	
		<b>86.5%</b> ← 55%	← 74%	14%	1%	9%	

※以下の質問項目は、肢体不自由部門と病弱部門をセクションを分けし、分けて集約。

<肢体不自由部門>

	診断内容	A よくあてはまる	B あてはまる	C あまりあてはまらない	D まったくあてはまらない	E わからない	
30	「学校間交流」「居住地校交流」が計画的に実践され、相互理解につながっている。(通信を含む)	31.1%	62.1%	2.9%	1.0%	2.9%	-0.8%
		30% ← 31%	64% ← 58%	1.0%	1.0%	4.0%	
		<b>93.2%</b> ← 94%	← 89%	3.0%	0.0%	6.0%	

<病弱部門>

31	「原籍校との交流・Web交流会」が計画的に実践され、相互理解につながっている。(通信を含む)	56.3%	31.3%	12.5%	0.0%	0.0%	-8.4%
		42% ← 50%	53% ← 48%	1.0%	0.0%	3.0%	
		<b>87.6%</b> ← 96%	← 98%	0.0%	0.0%	2.0%	